

淳城西小の先生方に聞く！（第3回）

授業改革推進チームの研修として、オンラインで淳城西小学校の先生方と交流し、淳城西小の実際
の取組を学んでいます。今号では、第3回の概要を紹介します。

第3回テーマ：「若手教員の学級経営と授業づくりの実際～先輩教員から学んだこと～」
ゲスト：伊藤 類 教諭（採用4年目）、山舘 俊太 教諭（採用1年目）



「いつも笑顔な類先生」
淳城西小学校6年生作

2年間、算数の教育専門監に授業に入っていたいただき授業を見ていただいたり、教育専門監の
授業を見せていただいたりした。一つの単元で交互に授業をしたこともあった。1年目は、授業
が終わる度に、教育専門監のところに教科書とノートを持って行き、一緒に振り返りをしていた。
2年目、3年目になると、算数の系統性や、他教科へのつながりにも気付くことができるようにな
り、それが今の授業につながっている。

授業のことで悩んでいると、周りの先生方が集まってきて、「私も一緒だよ。」と言ってくれる。
一人じゃないと思わせてくれる同僚の先生方の存在や環境がありがたい。

最初は、授業をどう進めるかで手一杯になっていた。校内研究や授業の検討会に参加しても、
何を協議しているのか正直分からなかった。

初任者研修を通して、「子どもにどんな姿になってほしいか」をまず考えないといけないと分
かった。秋田の先生のすごいところは、毎回、学習指導要領を持って来て、「ここにこう書いてあ
るから、このポイントを大事にしたらいいよね。」と話しているところ。「子どもにどんな姿になっ
てほしいか」を考えていくと、学習指導要領にその姿がきちんと書かれていることが分かるよう
になった。また、「教科の見方・考え方」「発問の吟味」「指示の仕方」などについて吟味をする意
味がだんだんと分かるようになってきた。



「元気な山舘俊太先生」
淳城西小学校3年生作

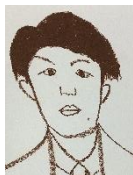
研修に参加した先生方からの質問

Q：先輩の先生方のアドバイスで、うれしかったことはどんなことですか？



校長先生が毎日授業を見に来てくださった時や他の先生方が教室に来られた時に、
「温かい雰囲気の良い教室だね。」と学級の様子をほめてくださったことがうれしかった。
1年目は自信がないので、マイナスな部分でも、「ここを頑張ったらもっと良くなる
よ。」と前向きな言い方で優しいアドバイスしてくれることがうれしかった。

Q：今、課題だと感じていることやもっと力を付けたいことは、どんなことですか？



授業の中盤から終末にかけて、クラス全体で共有する場面やまとめにつなげる場
面で自分の話の進め方などがうまくいかず、どうしたら良かったのかもやもやすること
がある。こちらが焦ると、子どもの発言が引き出せないこともあり、自分自身にまだ
余裕がないと感じている。

～難波指導教諭のつぶやき～

淳城西小学校の人材育成を一言で表すと**共有**だと感じています。

若手教員、ベテラン教員の枠を超えて、放課後の職員室では多くの会話が飛び交っていま
す。「今日の出来事」「授業づくりについて」「生徒指導について」「うまくいったこと・
いかなかったこと」「悩みや迷い」「どんな子ども達を育てたいのか」等。先生“歴”はそれ
ぞれ違いますが、お互いを尊重し合いながら、思いや願いを共有しています。

